



切磋琢磨

豊田市立井郷中学校
令和6年 3月 6日

いきいきと学び さわやかに とともにのびゆく われら井郷中生

第38回 卒業式 卒業おめでとうございます。

井郷中学校の校訓は「切磋琢磨」です。開校以来38年つないできたものです。「互いに励まし合い、鍛錬や修行をして高め合う。仲間が協力したり、競ったりして技量を高める」という意味です。学校の廊下には「学校中のみんなが互いに励まし合い、向上しようとする」と掲げてあります。つまり、「切磋琢磨」は、一人ではできないんです。仲間がいてこそ、磨き合える、高め合える、成長できる。先輩や後輩がいてこそ、がんばれた。気が合う子も合わない子も、いろいろな子がいます。みんな同じじゃない。一人一人違う。でも、一人じゃない。だから、今ここまで成長できたんです。周囲の人への感謝の気持ちを忘れないでください。

3年生になったから先輩になれたわけではありません。後輩がいて先輩にしてもらった。先輩がいたから、後輩は目の前に目標が見つかった。手本として前に進むことができた。お互いに「感謝」です。

井郷中学校での、この地域の、仲間がいて切磋琢磨できて成長できたのです。この時間を大切に。感謝の気持ちを忘れずに、新たな道へと歩いていってください。羽ばたいていってください。



<卒業式予行練習での 式辞>

令和5年度の「最輝」学年、ありがとう。

今年は閏（うるう）年です。2月29日がありました。4年に一度の周期であります。思い返すと、4年前の2月28日、君たちは3月からの臨時休校を伝えられました。小学校を卒業する先輩たちを見送ることなく長い春休みに。そして、小学校の最上級生となった4月の始業式で再度の臨時休校を聞くことになります。4月、5月と長い休校期間と分散登校があり、ようやく全員と会うことができたのは最上級生の3か月目の6月になってからでしたね。

月日は過ぎゆき、昨年度は、先輩たちの卒業を見送り、しっかりバトンを受け継ぎました。この令和5年度の最上級生としてがんばってきました。ありがとう。



予行練習での卒業の歌「群青」
在校生に卒業する先輩としての姿と思いを伝えました。



3月1日の卒業式予行練習では、在校生に第38回生の「卒業」の様子を見届けてもらいました。6日の卒業式当日には見せられない姿を見せました。この日は、たっぷり卒業生と在校生が「卒業」に向き合う時間でした。午後からの卒業を祝う会では、2年生が中心で企画と運営をし、1年生と協力して感謝の気持ちを届けました。楽しく明るく、思い出を振り返るとともに卒業生への感謝が込められた会でした。卒業生の思いに感謝して、その思いを引き継いで、バトンを受け取り、次へとつなぐ素敵な時間でした。

後輩たちの温かい風のにり、大きく羽ばたいていきましょう。



3月1日「卒業を祝う会」 2年生が企画し、在校生が卒業を祝う会を開催。



在校生からのプレゼント（写真立て）贈呈

各学級の思い出の集合写真を写真立てに入れた物をいただきました。一つ一つ手づくりで作成したものです。



学級紹介 1年間の思い出エピソードや学級の特色などを3年生のアンケートをもとに演出してクイズあり、映像ありで楽しく思い返すことができました。



2年生から歌のプレゼント 「春愁」 3年生への思いを歌に込めて伝えました。

卒業生から在校生へお礼の歌のプレゼント 「正解」 在校生に感謝の気持ちをこめて合唱を。



卒業生へ激励の応援
2年生の応援団と在校生全員のエールが卒業生の胸に響きました。次のステージにSTARTします。